

【2008年度】

(講演)

1. 産学官連携推進大会 2008in 北大阪 において「良質な睡眠を得るための睡眠時体動の計測とその活用」の演題で講演実施。2008年7月9日 大阪国際会議場（グランキューブ大阪）

(学術論文)

1. 小川 梢、芝垣佑美、萩原 啓：心拍動間隔の変動を用いた音刺激が人の心拍動間隔の変動に与える影響、人間工学 44(6) 334-340, 2008
2. 城 和男、萩原 啓：赤外線モーションセンサを用いた睡眠時体動の評価、生体医工学 47(1) 7-14, 2009 (掲載決定)

(学会発表論文)

1. 深尾 歩、中野紀夫、萩原 啓：ストループテストを用いた他動揺動運動の生体作用評価、人間工学 No. 44 特別号 236-237, 2008
2. 橋崎将典、中村美穂、萩原 啓：脳内酸素化ヘモグロビン濃度変化によるパフォーマンスの推定、シンポジウム「モバイル08」91-96, 2008
3. 小川 梢、芝垣佑美、萩原 啓：心拍ゆらぎを用いた音刺激による引き込み現象の特徴、ヒューマンインタフェースシンポジウム 2008 論文集 93-98, 2008
4. 城 和男、萩原 啓：種々のセンシング手段を用いた睡眠時体動の特徴抽出、生体医工学シンポジウム 2008 講演予稿集 107-133, 2008
5. 中村美穂、橋崎将典、萩原 啓：活性度変化と脳内血中酸素化 Hb 濃度の時系列相関分析、第 23 回生体生理工学シンポジウム論文集 221-224, 2008
6. 深尾 歩、中野紀夫、萩原 啓：ストループテストを用いた他動揺動運動の生理的効果の定量評価、第 23 回生体生理工学シンポジウム 論文集 335-338, 2008
7. 芝垣佑美、小川 梢、萩原 啓：照度の違いによる認知判断パフォーマンステスト中の生理・心理・行動能力の変化、計測自動制御学会 システム・情報部門学術講演会 2008 論文集 53-58, 2008
8. 金倉智行、稲本辰巳、萩原 啓：立位閉眼時の覚醒変動が身体の動揺に及ぼす影響、計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会 2008 論文集 311-314, 2008

9. 稲本辰巳、金倉智行、萩原 啓：覚醒度推移時における α 波成分の詳細解析、計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会 2008 論文集 315-318, 2008
10. 伊藤民子、小川 梢、萩原 啓：活動および休息状態における心拍変動と呼吸変動の特徴抽出、計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会 2008 論文集 543-548, 2008
11. 萩原 啓、城 和男：睡眠時体動計測による睡眠状態の簡易モニタリング、第2回横幹連合総合シンポジウム予稿集、 51-52, 2008
12. 坪井宏祐、八木勇樹、城 和男、萩原 啓：終夜における心拍変動と睡眠状態の関係、平成20年度日本人間工学会関西支部大会論文集 49-52, 2008
13. 高野佑樹、伊藤民子、小川 梢、萩原 啓：異なる活動状態における心拍および呼吸変動の特徴抽出、平成20年度日本人間工学会関西支部大会論文集 53-56, 2008
14. 佐藤健二、中村美穂、萩原 啓：追従および認知・判断タスク中の脳内酸素化ヘモグロビン濃度変化の特徴比較、平成20年度日本人間工学会関西支部大会論文集 73-76, 2008

以上